

## 平成23年度 第3四半期報告の概要

### <主要指標>

・ 保険料等収入	…	4兆1,010億円	(前年同期比 45.2%増加)
・ 基礎利益	…	2,684億円	(前年同期差 338億円増加)
・ ソルベンシー・マージン比率	…	1,147.6%	(前年度末差 9.2ポイント低下)
・ 実質純資産額	…	3兆5,572億円	(前年度末差 1,348億円増加)
・ 一般勘定資産全体の含み損益	…	1兆3,733億円	(前年度末差 964億円増加)
・ 時価のある有価証券の含み損益	…	1兆1,123億円	(前年度末差 947億円増加)

## 1. 契約業績

◇ 保険料等収入は、4兆1,010億円と前年同期比45.2%の増収

- ・ 営業職員チャンネルは、個人営業改革を通じた新契約業績の伸展と契約クオリティのいっそうの改善により、前年同期比20.3%の増加
- ・ 銀行窓販チャンネルは、引き続き好調な販売業績により、前年同期比101.1%の増加

◇ 新契約年換算保険料も、営業職員および銀行窓販チャンネルの好調な業績により、全体で2,224億円と前年同期比45.5%の増加

### ○ 保険料等収入の状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
保険料等収入	41,010	45.2%	28,250
うち個人保険・個人年金保険	33,746	59.7%	21,131
うち団体保険・団体年金保険	6,909	2.3%	6,753

#### ・ うち営業職員チャンネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
保険料等収入	12,471	20.3%	10,366

#### ・ うち銀行窓販チャンネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
保険料等収入	20,845	101.1%	10,364

### ○ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
新契約年換算保険料	2,224	45.5%	1,528

#### ・ うち営業職員チャンネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
新契約年換算保険料	801	22.0%	657

#### ・ うち銀行窓販チャンネルの状況

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
新契約年換算保険料	1,399	64.6%	850

### ○ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末比	
保有契約年換算保険料	19,680	7.4%	18,327

《ご参考》クオリティ指標の状況

- ◇ 解約・失効率は、営業職員によるアフターサービスの充実により、3.78%と前年同期差0.43ポイントの改善
- ◇ 総合継続率についても、13月目は前年同期差0.6ポイントの改善、また25月目も3.0ポイントの改善

○ 解約・失効の状況（個人保険・個人年金保険） （単位：億円）

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期比（差）	第3四半期累計期間
解約・失効年換算保険料	522	△6.2%	556
解約・失効率	3.78%	△0.43ポイント	4.21%

（注）解約・失効率は、契約高ベースで、年換算していない数値として算出しています。

○ 総合継続率の状況（個人保険・個人年金保険）

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期差	第3四半期累計期間
13月目総合継続率	94.1%	0.6ポイント	93.4%
25月目総合継続率	86.6%	3.0ポイント	83.5%

（注）総合継続率は、契約高ベースにて算出しています。

## 2. 収益性指標

- ◇ 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加等により、2,684億円と前年同期差338億円の増益（前年同期比14.5%増加）

○ 基礎利益 （単位：億円）

	平成23年度		平成22年度
	第3四半期累計期間	前年同期差	第3四半期累計期間
基礎利益	2,684	338	2,345

### 3. 健全性指標

- ◇ ソルベンシー・マージン比率は、1,147.6%と、引き続き1,100%を超える支払余力を確保。なお、新基準については705.4%と前年度末から41.8ポイント上昇
- ◇ 一般勘定資産全体の含み損益についても、1兆3,733億円と前年度末から964億円の増加

#### ○ ソルベンシー・マージン比率

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,147.6%	△9.2ポイント	1,156.8%
ソルベンシー・マージン総額 (A)	33,329	90	33,238
リスクの合計額 (B)	5,808	61	5,746

(注1) ソルベンシー・マージン比率 = (A) / (1/2 × (B)) × 100

(注2) 平成23年度第3四半期会計期間末は、法令等に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

#### 《ご参考》 新基準によるソルベンシー・マージン比率

	平成23年度		平成22年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
新基準によるソルベンシー・マージン比率	705.4%	41.8ポイント	663.6%

(注) 平成23年度末から適用される法令等を適用したと仮定し、平成23年度第3四半期会計期間末は、当社が合理的と判断する方法で算出しています。

#### ○ 実質純資産額

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
実質純資産額	35,572	1,348	34,223
一般勘定資産に対する比率	12.6%	△0.3ポイント	13.0%

(注) 平成23年度第3四半期会計期間末は、法令等に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

#### 《ご参考》 内部留保等+追加責任準備金

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
内部留保等+追加責任準備金	19,308	308	19,000

#### ○ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	平成23年度		平成22年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	13,733	964	12,768
うち時価のある有価証券	11,123	947	10,176
うち公社債	7,581	4,630	2,950
うち株式	3,486	△4,169	7,656
うち外国証券	△81	454	△535

(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

○ 国内株式含み損益ゼロ水準

	平成23年度 第3四半期会計期間末	平成22年度末
仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合		
日経平均株価ベース	7,100円程度	6,900円程度
TOPIXベース	610 <sup>円</sup> 1 <sup>円</sup> 外程度	620 <sup>円</sup> 1 <sup>円</sup> 外程度
株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合		
日経平均株価ベース	7,000円程度	6,800円程度
TOPIXベース	600 <sup>円</sup> 1 <sup>円</sup> 外程度	610 <sup>円</sup> 1 <sup>円</sup> 外程度

#### 4. その他

東日本大震災による保険金等の支払見込額は166億円（うち、支払額は累計で149億円）

以上